



2024年12月13日
東日本旅客鉄道株式会社八王子支社
大学コンソーシアム八王子
八王子市

JR 東日本八王子支社は大学コンソーシアム八王子と連携した取組を推進します

- JR東日本八王子支社では、お客さまや地域とのつながり「心豊かな生活」の実現を目指す「Beyond Stations 構想※1」推進に向けて、八王子駅を舞台に「大学コンソーシアム八王子※2」と連携し、八王子エリアに関連する大学と多くのイベントを実施してきました。
- 2025年3月に予定しているダイヤ改正では、中央線快速でのグリーン車サービス開始や山梨エリアから東京方面への通勤・通学に便利な臨時特急「かいじ」の設定により、八王子エリアへの利便性が向上します。
- 今回のダイヤ改正をきっかけに、さらに「大学コンソーシアム八王子」との連携を強化して、八王子エリアの豊かな自然、魅力的な歴史文化を活かし、八王子駅が「学生と地域がつながる拠点」として、また「学生の取組成果を披露する拠点」として機能するよう一層力を入れていきます。

1. これまでの大学コンソーシアム加盟大学との取り組み（2024年実施）

①大学生がサポート！スマートフォン相談会 at 「デジタルよろず相談所※3」

八王子駅で定期的に行っている「デジタルよろず相談所」にデジタル庁から任命されたJR社員と多摩大学の学生が、1月27日（土）・28日（日）の2日間にわたりデジタル機器や各種サービスの利活用のサポートを目的に、スマートフォン相談会コーナーを設置しました。JRE POINTの登録、エキトマチケット、えきねっと等の各種サービスだけでなく、スマートフォンの基本的な操作についてもサポートしました。

協力：多摩大学梅澤ゼミ

②世代間交流サロン「憩いの場の創出・鉄道と旅」

2月22日（木）にセレオ八王子北館10階バンケットルーム「セレオスクエア」にて、JR社員と多摩大学梅澤ゼミの学生による、「鉄道と旅」をテーマに講座・レクリエーション・体操を通じて世代間の交流や仲間づくりを目的とする「世代間交流サロン」を実施しました。

協力：多摩大学梅澤ゼミ、(株)JR中央線コミュニティデザイン



③救急救命ワークショップ「学生と学ぶ、命のそなえ」

「救急医療週間」(9月8日～9月14日)に伴い、救急医療及び救急業務に対する市民の認識を深めるために、9月7日(土)・8日(日)の2日間、八王子消防署の指導と杏林大学生の実演を頂きながら、蘇生訓練人形を使った正しい胸骨圧迫のやり方やAEDの使い方の指導・実演、蘇生訓練人形を使用した胸骨圧迫(心臓マッサージ)体験を八王子駅構内で実場面を想定した体験学習会を開催しました。

協 力：KELC(杏林大学救命救急クラブ)、東京消防庁八王子消防署



④『大学生とつくる「鉄道の日」』イベントの開催

帝京大学鉄道研究部の学生と協力し、10月14日の鉄道の日にあわせて、10月12日～14日の3日間を『大学生とつくる「鉄道の日」』と題し、オリジナルの電車を作製するワークショップや学生が制作した鉄道模型ジオラマ展示、鉄道模型ジオラマ運転体験など鉄道に関連するイベントを八王子駅にて開催しました。

協 力：帝京大学鉄道研究部



2. JR東日本八王子支社の今後の取り組みについて

JR東日本八王子支社では、八王子駅周辺において「Beyond Stations 構想」の推進にむけて、駅をつなげる「暮らしのプラットフォーム」への転換を目指し、地域の皆さまと様々な取り組みを実施してきました。

特に市内に21もの大学・短期大学・高等専門学校がある「学生のまち 八王子」ならではの取り組みとして「大学コンソーシアム八王子」と連携したイベントを数多く実施しています。

2025年3月に予定しているダイヤ改正で山梨エリアから八王子市内の大学への通学に便利な臨時特急「かいじ」の設定により、更に「学生のまち 八王子」の発展可能性が広がるのをきっかけに「大学コンソーシアム八王子」との連携をさらに強化し、八王子駅を中心に「新たなコミュニティの創出」「デジタル社会への対応」「地域防災」など社会的課題の解決に向け「学生が活躍する場」「学生が地域とつながる拠点」を創出していきます。

※1 Beyond Stations 構想について

ヒトの生活における「豊かさ」を起点として、リアルな交流拠点である駅の強みを活かしながら駅空間の配置と機能を変革するとともに、「交通の拠点」という役割を超えて、駅を“つながる”「暮らしのプラットフォーム」へと転換していく構想です。八王子駅はモデル駅の1つです。



※2 大学コンソーシアム八王子について

八王子市内は、大学・短期大学・高等専門学校が21校存在し、外国人留学生約4千人を含めた約10万人の学生が学ぶ全国有数の学園都市でもあります。「大学コンソーシアム八王子」は、2009年の創設以来、大学・市民・経済団体・企業・行政から構成される32の加盟団体が、連携・協働し、魅力ある学園都市に向けた各種の活動を展開しています。



加盟大学等(25)：工学院大学、明星大学、東京工業高等専門学校、帝京大学、帝京大学短期大学、東京造形大学、東京純心大学、杏林大学、多摩美術大学、創価大学、創価女子短期大学、東京薬科大学、拓殖大学、中央大学、日本文化大学、法政大学、東京工科大学、東京都立大学、山野美容芸術短期大学、ヤマザキ動物看護大学、東京家政学院大学、サレジオ工業高等専門学校、デジタルハリウッド大学、桜美林大学、多摩大学

※3 デジタルよろず相談所について

デジタル庁から任命されたJR社員が駅コンコース、みどりの窓口等にて、デジタル庁が掲げる「デジタル田園都市国家構想」の実現や「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル社会」の実現に向けて開催しています。デジタル機器やサービスの利用をサポートするとともに、JRE POINT・モバイルSuica・えきねっとなどの利用方法について案内を行っています。

2024年度八王子支社管内情報(2024年11月末現在)

開催箇所数：八王子駅改札前、ルミネ立川、甲府駅コンコース等 全14か所

開催回数：41開催

デジタル推進員：201名